

令和6年度 美祢市人権教育ふれあい講座・リーダー講座



共に学び！共に生きる！



～一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて～

【第6講座を開催して】

11月25日（月）、美祢市民会館大ホールにおいて、令和6年度美祢市人権教育ふれあい講座（第6講座）を開催しました。

『同和問題』をテーマとして、山口短期大学 教授 加藤 浩久（かとう ひろひさ）氏から、「人権教育の推進について～江戸時代の身分制度が残したもの～」と題して、御講演いただきました。

誰もが学校の授業や職場の研修で学んできた「同和問題」ですが、新たに明らかになった事実の多さに驚きました。様々な人権に関する問題について、知っているつもりで過ごすのではなく、新しい知識を身に付け、一人ひとりの人権が尊重された美祢市を目指していきます。



【受講者の主な感想】

- 昔習った社会の学びがこんなに変わってきたことを知ることができ、とても勉強になりました。
- 改めて歴史の勉強ができた。人権問題について深く学ぶことができた。
- 学生のときに学んだ歴史との違いがあることを知り驚いたが、人権問題に対する正しい知識、認識をしていきたいと思った。
- 教科書の記述の仕方が、私達の認識に大きく影響を与えているとわかった。色々な情報を取り入れ、自分で考えることが大切であると思った。
- 謝った認識をアップデートすることができ、有意義であった。
- 歴史の視点から問題について知ることができ、非常に勉強になりました。差別、偏見は許されないと感じました。
- 被差別身分の人たちの歴史を詳しく聞くことができ、初めて知ることが多くありました。昔習った教科書と違ってびっくりしました。私も学び続けたいと思いました。
- 自分自身の認識は、これまで学んできた事柄でできているということを改めて理解した。学び続けることこそ、より正しい認識をもつことにつながるということを忘れず、これからも学び続けていきたいと思った。

- 講座を聞き、この差別がいかにかつられたものか分かりました。今更同和なんて寝た子を起こすだけと言う人がいますかやはり教育は必要だと思います
- 同和問題に関する歴史について、大変勉強になりました。
- 同和問題の基礎知識も乏しかったため歴史背景から学ぶことができとても有意義な時間となりました。ありがとうございました。
- 土農工商を教科書で習った世代なので、社会科歴史的な分野における教科書記述の変更点は大変興味深く拝聴出来ました。制度の実際を知る事により、概念が見直され現代の認識が変わり、差別や偏見がなくなる事を願います。
- 昔から存在する難しい問題だと思います。色々勉強して差別のない世の中にする事が大切だと強く感じました。
- 明治時代以降の話をもっと聞いてみたかったです
- 人権学習を通して、正しく理解させていただけました。リモートではどうしても聞きづらいので残念に思えました。